

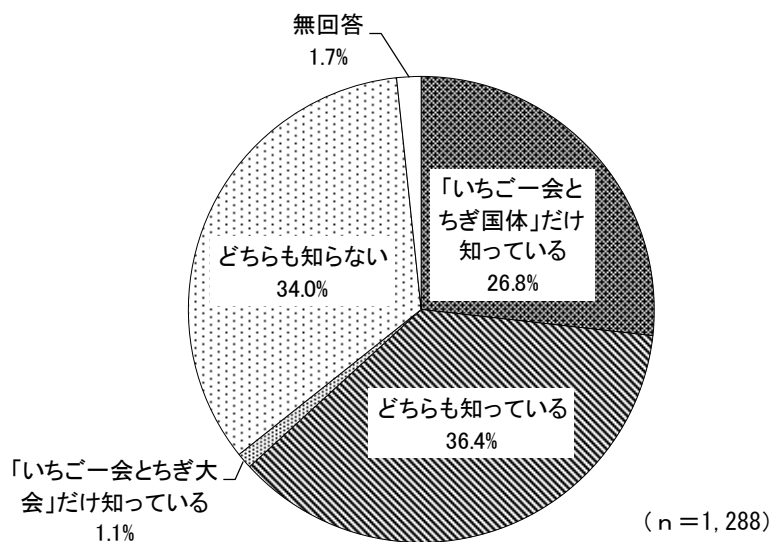
## 6 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の開催について

### (1) 「いちご一会とちぎ国体」「いちご一会とちぎ大会」の認知度

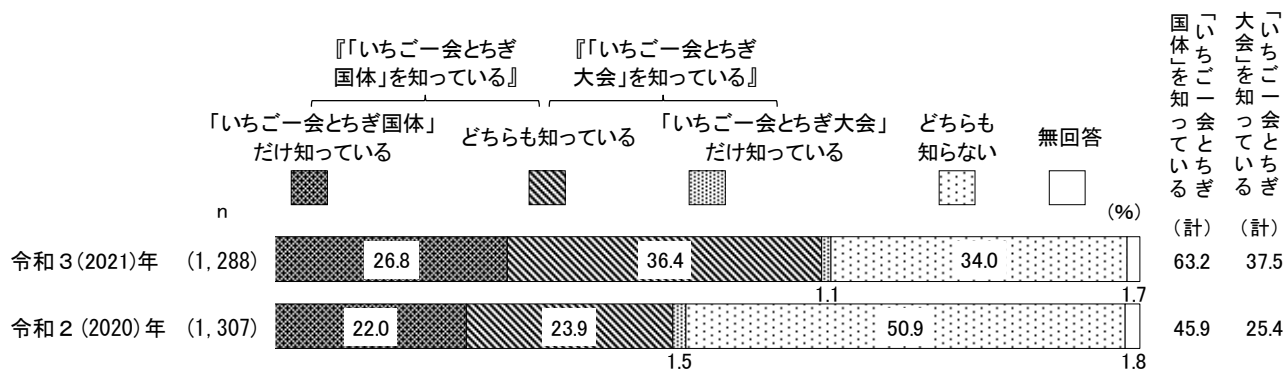
問17 あなたは、2022年に「いちご一会とちぎ国体」及び「いちご一会とちぎ大会」が栃木県で開催されることを知っていますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,288]

1	どちらも知っている	36.4%
2	「いちご一会とちぎ国体」だけ知っている	26.8
3	「いちご一会とちぎ大会」だけ知っている	1.1
4	どちらも知らない	34.0
	(無回答)	1.7

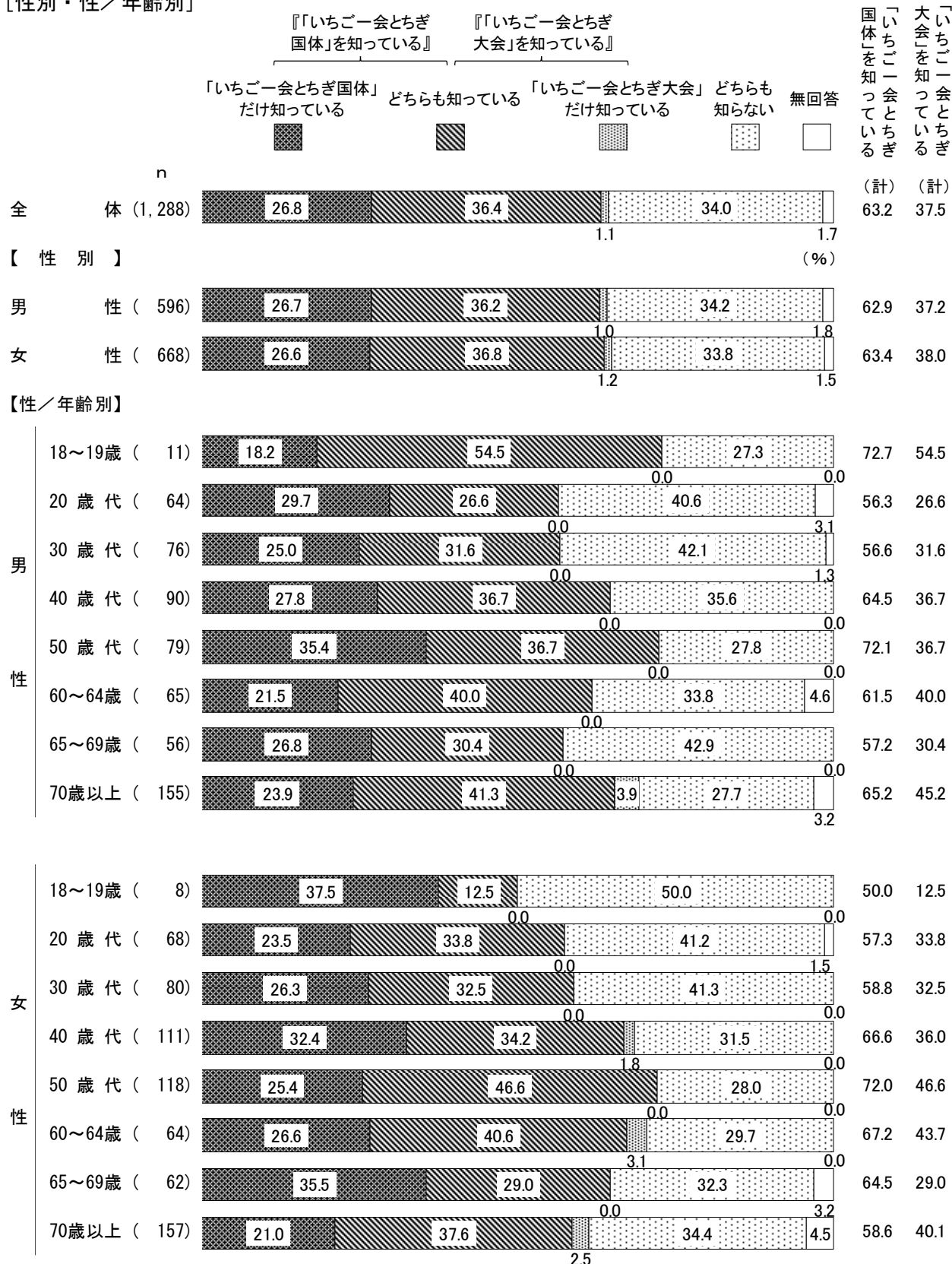


全体で見ると、「どちらも知っている」(36.4%)と『「いちご一会とちぎ国体」だけ知っている』(26.8%)の2つを合わせた『「いちご一会とちぎ国体」を知っている』(63.2%)が6割を超え、「どちらも知っている」(36.4%)と『「いちご一会とちぎ大会」だけ知っている』(1.1%)の2つを合わせた『「いちご一会とちぎ大会」を知っている』(37.5%)が4割近くとなっている。一方、「どちらも知らない」(34.0%)が3割半ばとなっている。



前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、『「いちご一会とちぎ国体」を知っている』は17.3ポイント、『「いちご一会とちぎ大会」を知っている』は12.1ポイント、それぞれ増加している。

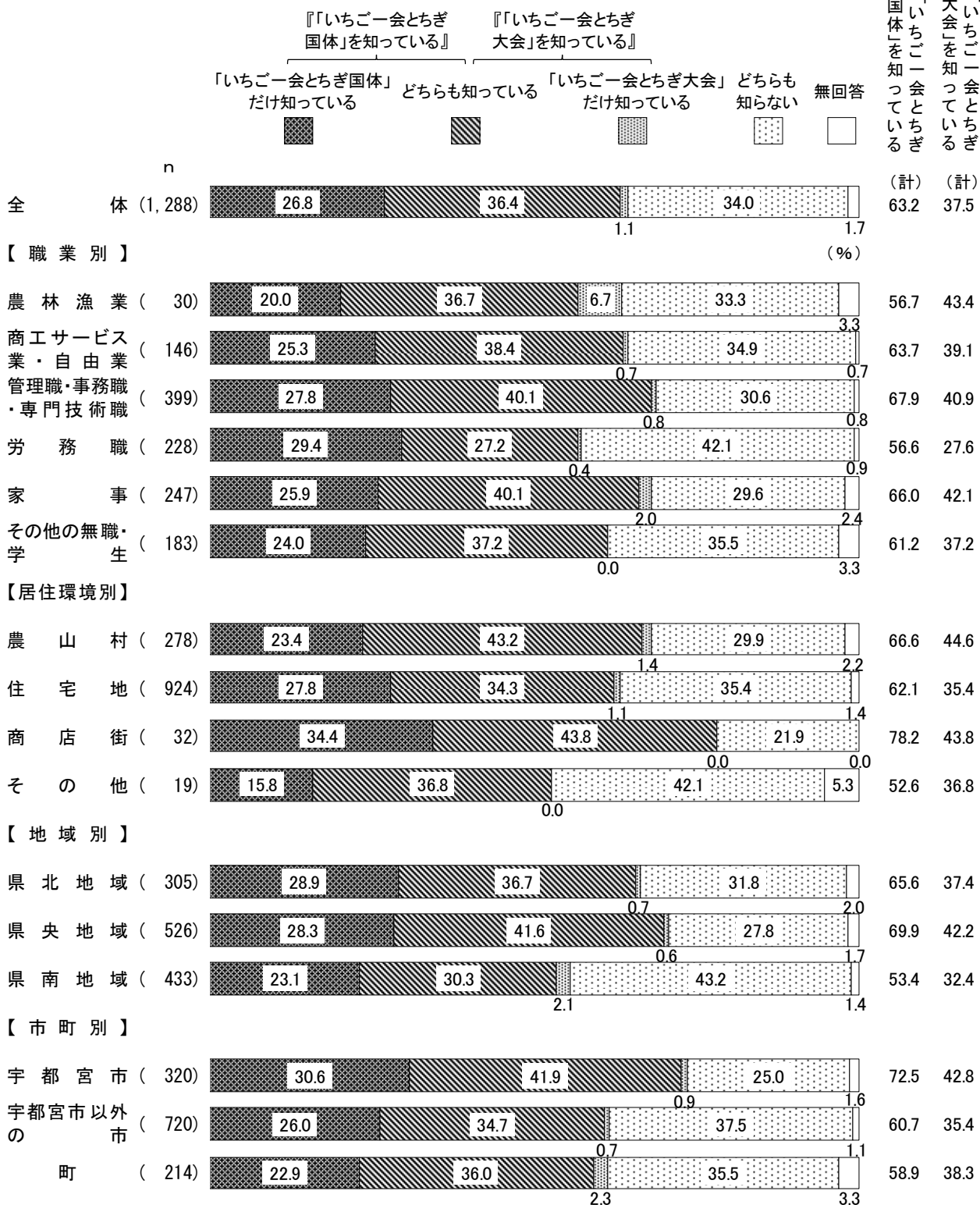
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『「いちご一会とちぎ国体」を知っている』では〈男性50歳代〉が72.1%、〈女性50歳代〉が72.0%と高くなっている。『「いちご一会とちぎ大会」を知っている』では〈女性50歳〉が46.6%、〈男性70歳以上〉が45.2%と高くなっている。一方、「どちらも知らない」では〈男性65~69歳〉が42.9%と高くなっている。

【職業別・居住環境別・地域別・市町別】



職業別でみると、『「いちご一会とちぎ国体」を知っている』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が67.9%と高くなっている。『「いちご一会とちぎ大会」を知っている』では〈農林漁業〉が43.4%と高くなっている。一方、「どちらも知らない」では〈労務職〉が42.1%と高くなっている。

居住環境別でみると、「どちらも知っている」は〈商店街〉が43.8%、〈農山村〉が43.2%と高くなっている。

地域別でみると、「どちらも知っている」では〈県央地域〉が41.6%と高くなっている。一方、「どちらも知らない」では〈県南地域〉が43.2%と高くなっている。

市町別でみると、「どちらも知っている」では〈宇都宮市〉が41.9%と高くなっている。一方、「どちらも知らない」では〈宇都宮市以外の市〉が37.5%と高くなっている。

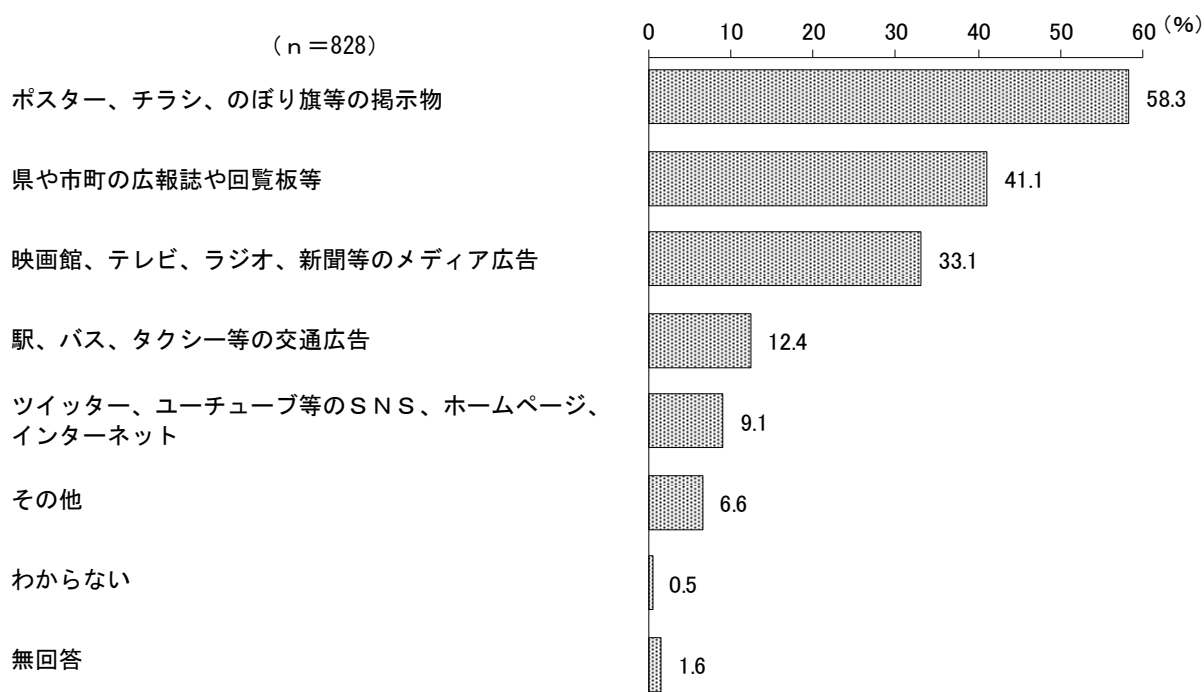
(1-1) 両大会が栃木県で開催されることを知った方法

(問17で選択肢「どちらも知っている」、「『いちご一会とちぎ国体』だけ知っている」、「『いちご一会とちぎ大会』だけ知っている」を選んだ方のみお答えください)

問17-1 あなたは、両大会が栃木県で開催されることを、どのような広報手段で知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。

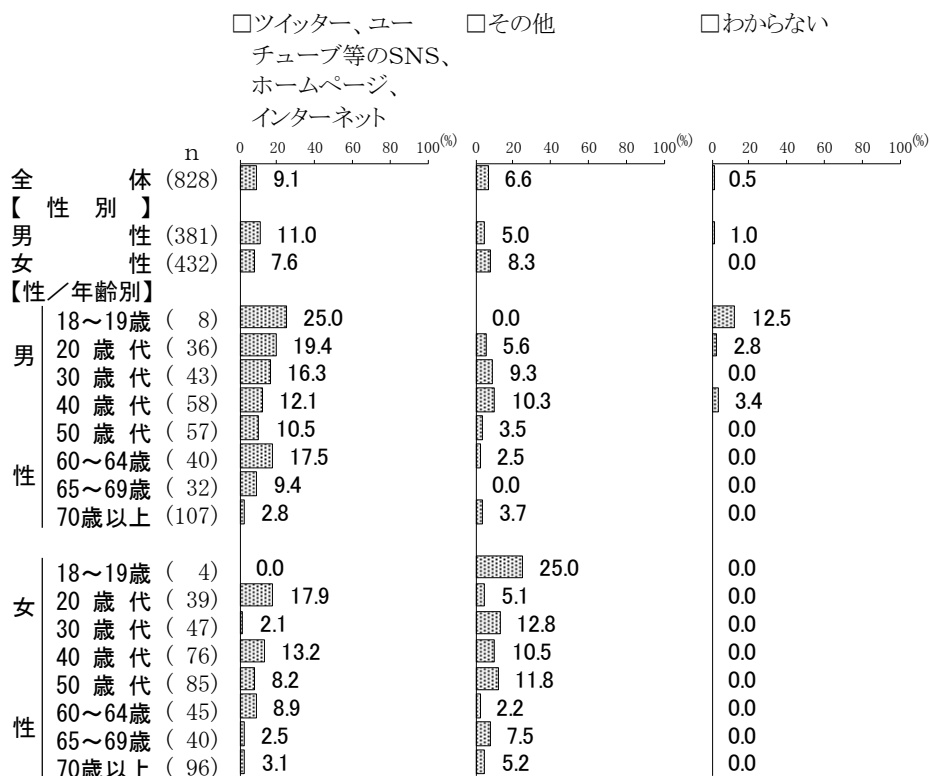
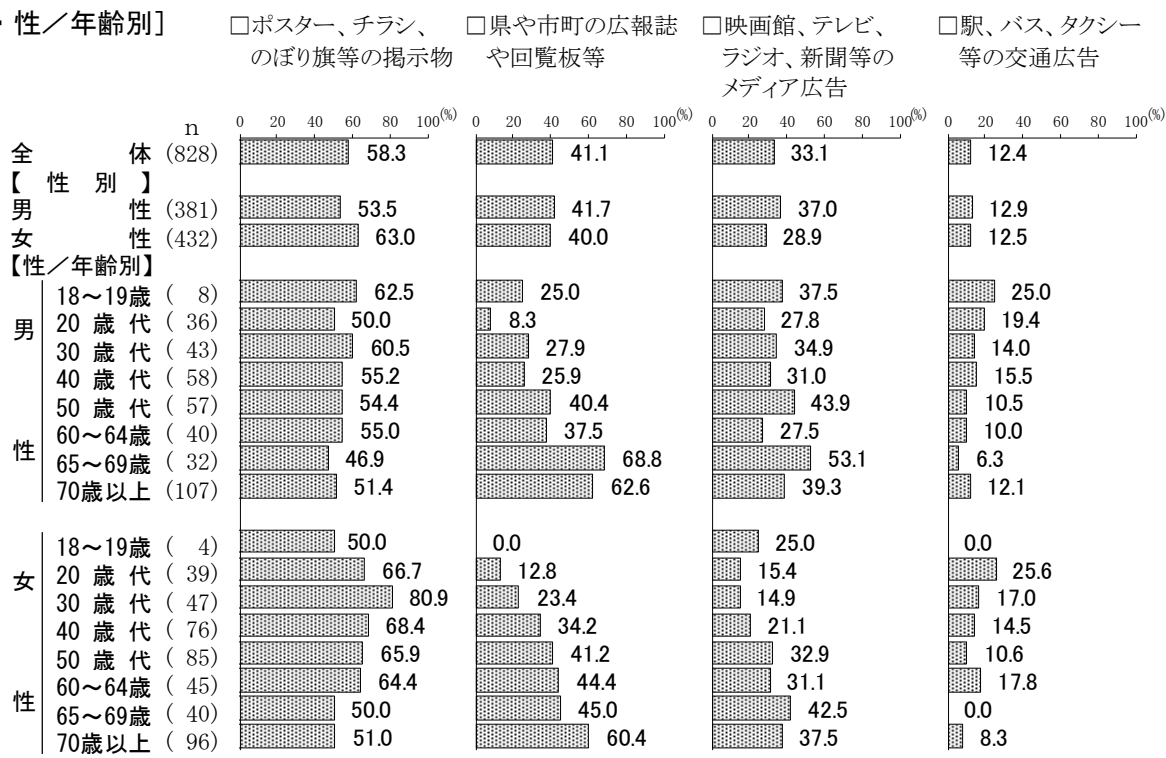
[n=828]

1	ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物	58.3%
2	ツイッター、ユーチューブ等のSNS、ホームページ、インターネット	9.1
3	映画館、テレビ、ラジオ、新聞等のメディア広告	33.1
4	駅、バス、タクシー等の交通広告	12.4
5	県や市町の広報誌や回覧板等	41.1
6	その他	6.6
7	わからない	0.5
	(無回答)	1.6



全体で見ると、「ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物」(58.3%)が6割近くで最も高く、次いで「県や市町の広報誌や回覧板等」(41.1%)、「映画館、テレビ、ラジオ、新聞等のメディア広告」(33.1%)、「駅、バス、タクシー等の交通広告」(12.4%)の順となっている。

[性別・性/年齢別]

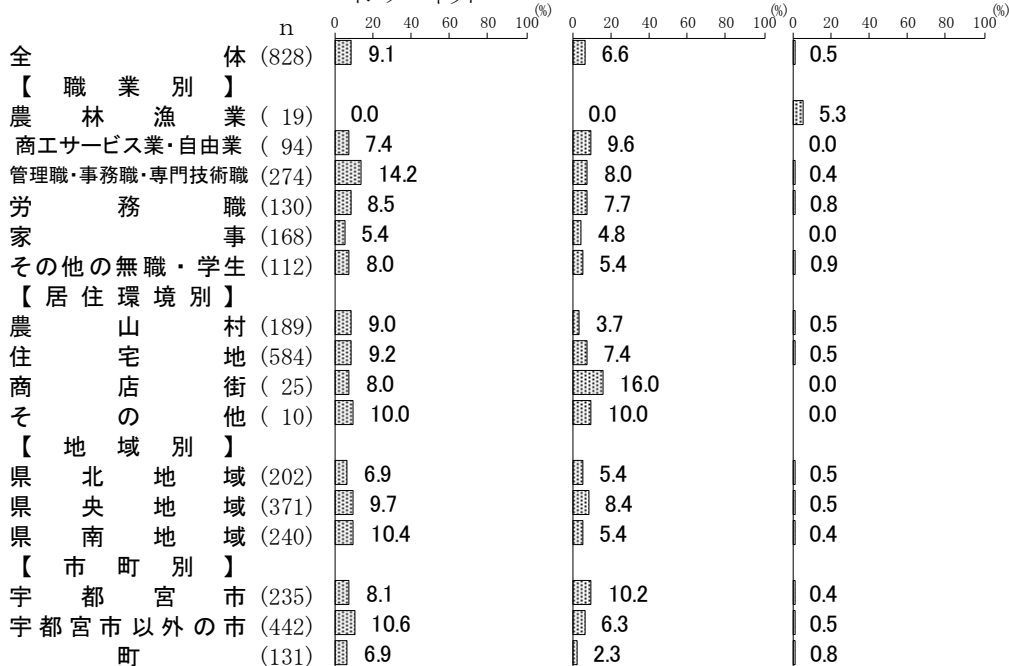
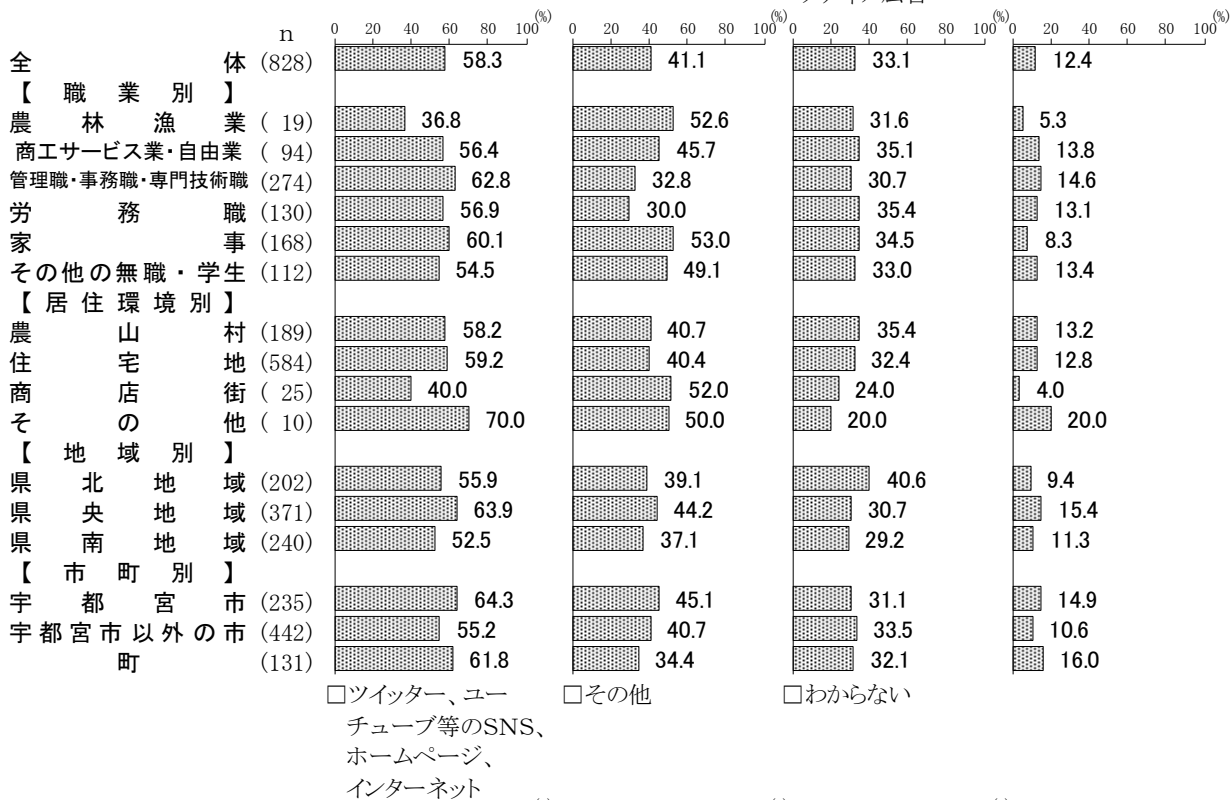


性別でみると、「ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物」では〈女性〉(63.0%)が〈男性〉(53.5%)より9.5ポイント高くなっている。「映画館、テレビ、ラジオ、新聞等のメディア広告」では〈男性〉(37.0%)が〈女性〉(28.9%)より8.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物」では〈女性30歳代〉が80.9%と高くなっている。「県や市町の広報誌や回覧板等」では〈男性65~69歳〉が68.8%、〈男性70歳以上〉が62.6%、〈女性70歳以上〉が60.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]

□ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物 □県や市町の広報誌や回覧板等 □映画館、テレビ、ラジオ、新聞等のメディア広告 □駅、バス、タクシー等の交通広告



職業別でみると、「ツイッター、ユーチューブ等のSNS、ホームページ、インターネット」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が14.2%で他の職業と比べて高くなっている。「県や市町の広報誌や回覧板等」では〈家事〉が53.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、「ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物」では〈県央地域〉が63.9%と高くなっている。「映画館、テレビ、ラジオ、新聞等のメディア広告」では〈県北地域〉が40.6%と高くなっている。

市町別でみると、「ポスター、チラシ、のぼり旗等の掲示物」では〈宇都宮市〉が64.3%と高くなっている。

## (2) 両大会に参加・協力できる方法

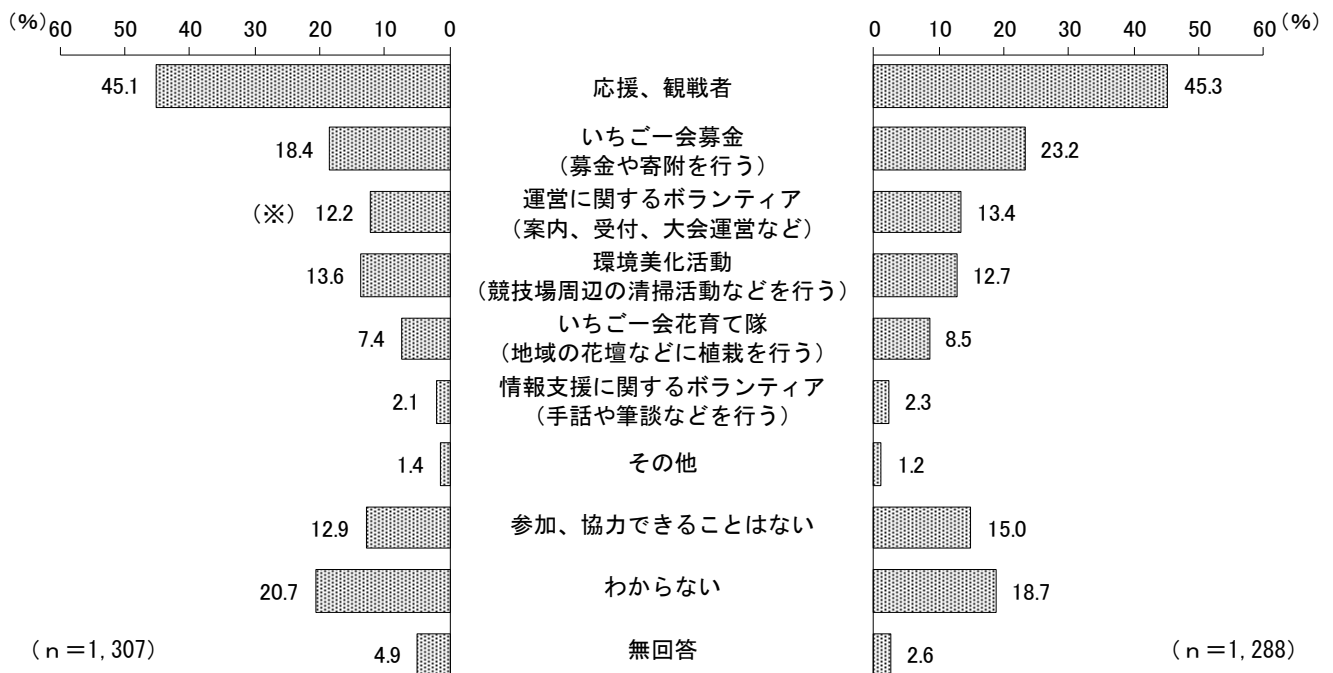
問18 両大会を盛り上げていくためには、選手や競技役員以外にも1人でも多くの方のご参加、ご協力が必要です。あなたは、選手や競技役員以外でどのような形でなら参加、協力できると思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,288]

1	運営に関するボランティア（案内、受付、大会運営など）	13.4%
2	情報支援に関するボランティア（手話や筆談などを行う）	2.3
3	いちご一会募金（募金や寄附を行う）	23.2
4	いちご一会花育て隊（地域の花壇などに植栽を行う）	8.5
5	環境美化活動（競技場周辺の清掃活動などを行う）	12.7
6	応援、観戦者	45.3
7	その他	1.2
8	参加、協力できることはない	15.0
9	わからない	18.7
	（無回答）	2.6

【令和2(2020)年】

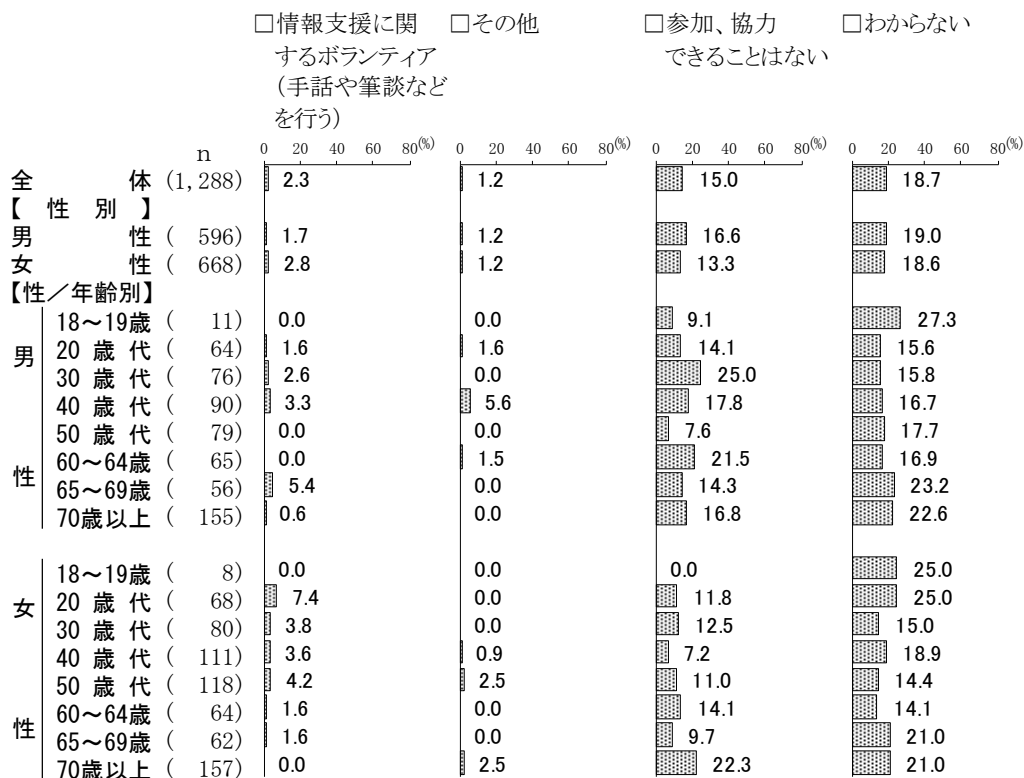
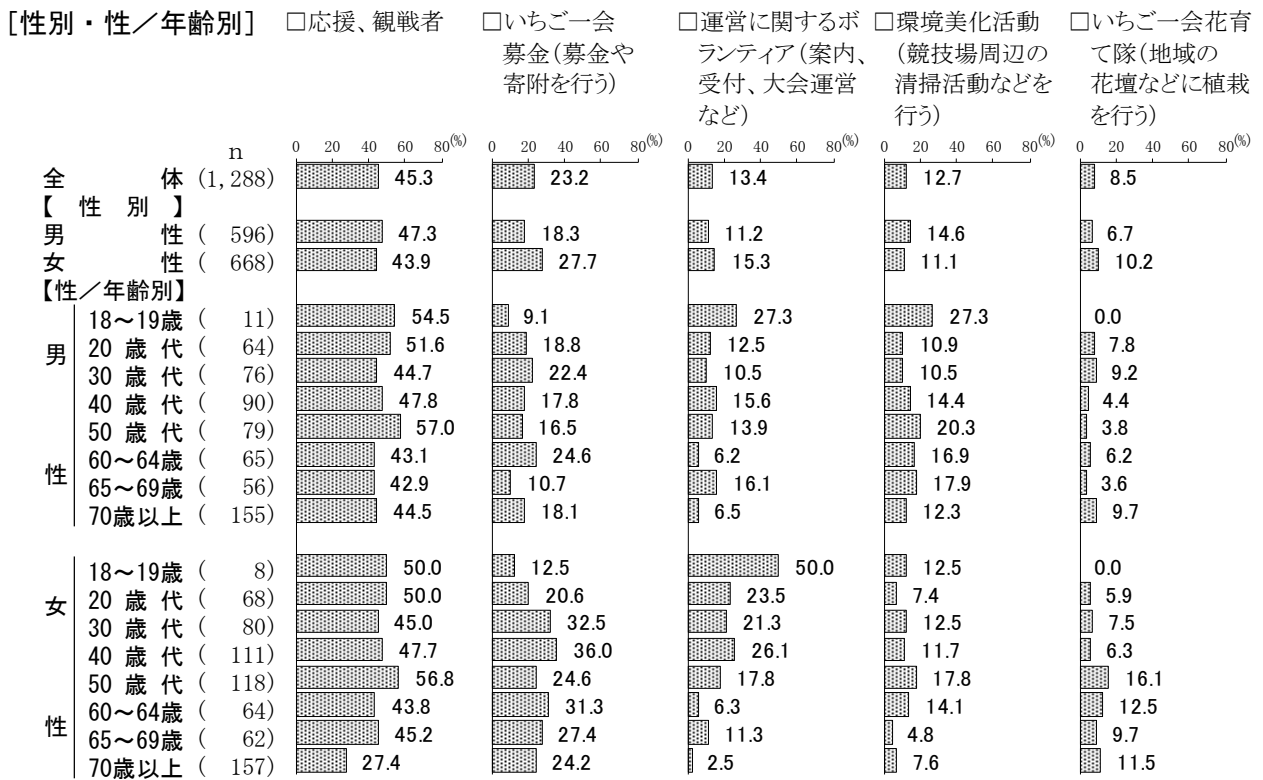
【令和3(2021)年】



(※)「運営に関するボランティア（案内、受付、大会運営など）」は、令和2(2020)年調査までは「運営に関するボランティア（受付、案内、大会運営などを行う）」としていた。

全体で見ると、「応援、観戦者」(45.3%)が4割半ばで最も高く、次いで「いちご一会募金（募金や寄附を行う）」(23.2%)、「運営に関するボランティア（案内、受付、大会運営など）」(13.4%)、「環境美化活動（競技場周辺の清掃活動などを行う）」(12.7%)の順となっている。

前回(令和2(2020)年)の調査結果と比較すると、「いちご一会募金（募金や寄附を行う）」が4.8ポイント増加している。

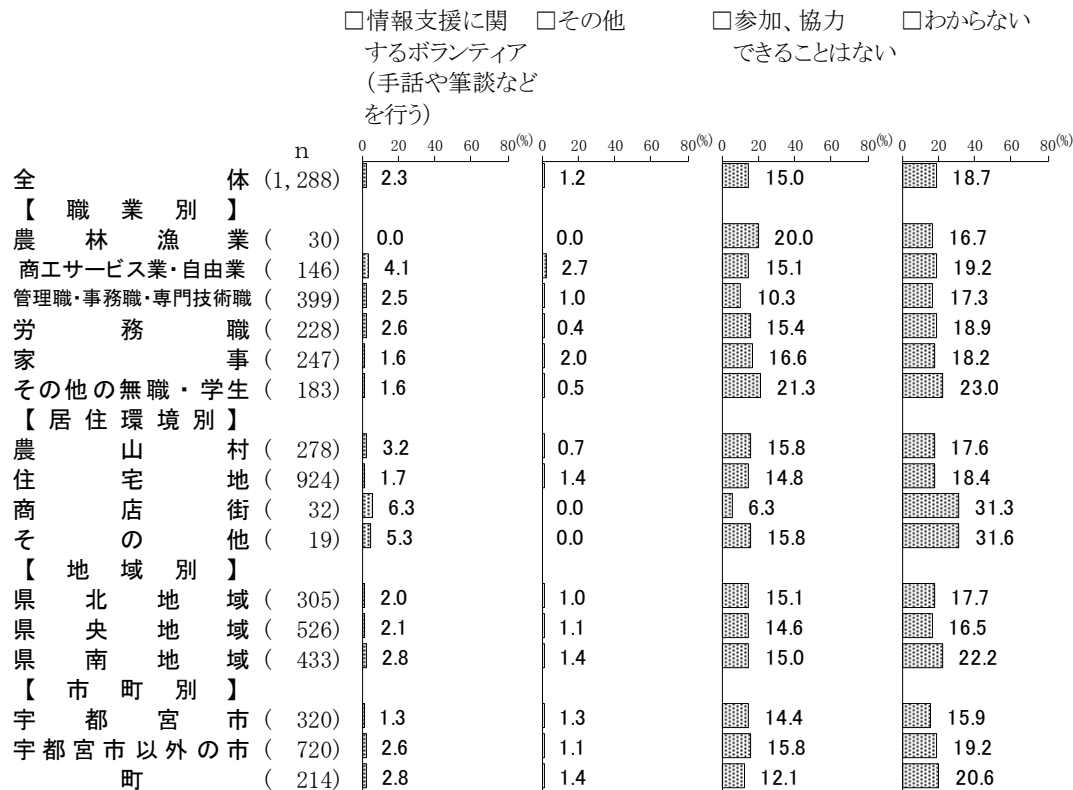
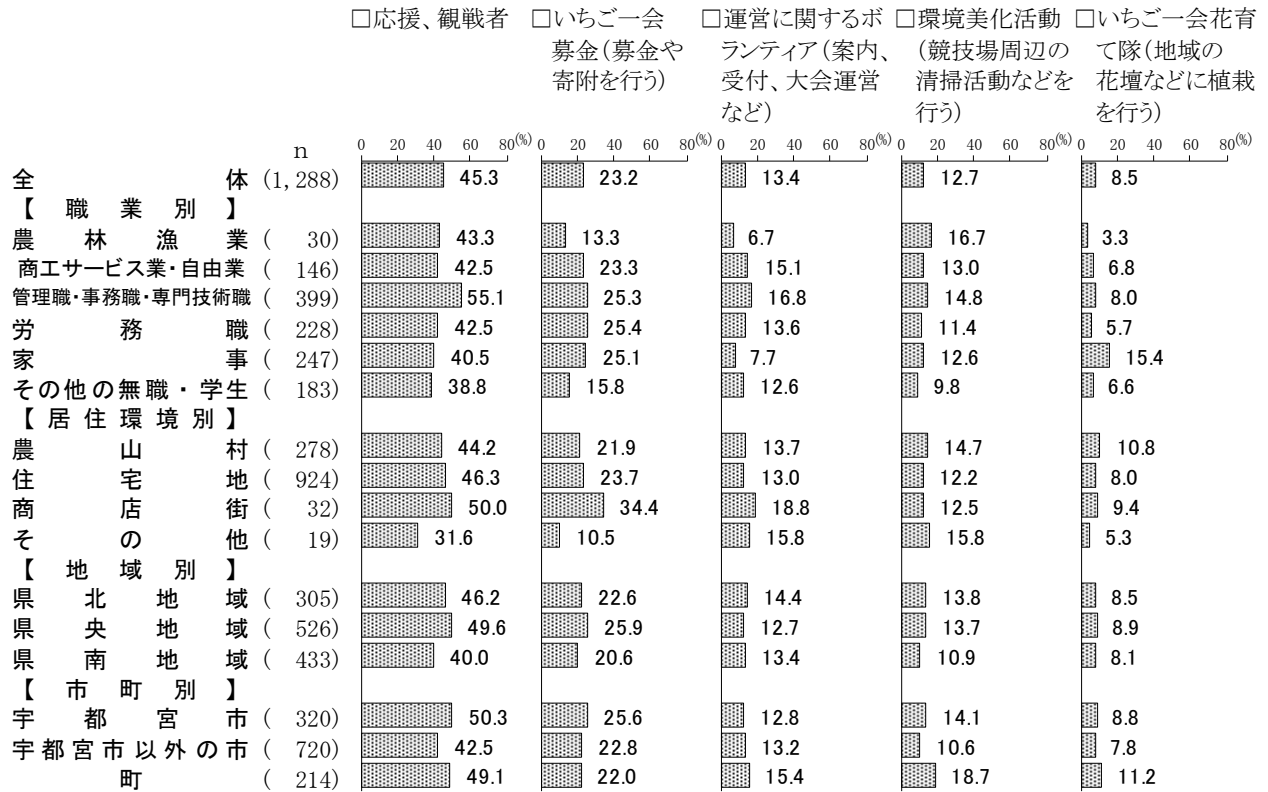


性別でみると、「いちご一会募金(募金や寄附を行う)」では〈女性〉(27.7%)が〈男性〉(18.3%)より9.4ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「いちご一会募金(募金や寄附を行う)」では〈女性40歳代〉が36.0%で他の年代と比べて高くなっている。「運営に関するボランティア(案内、受付、大会運営など)」では〈女性40歳代〉が26.1%と高くなっている。「いちご一会花育て隊(地域の花壇などに植栽を行う)」では〈女性50歳代〉が16.1%で他の年代と比べて高くなっている。



[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「応援、観戦者」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が55.1%と高くなっている。「いちご一会花育て隊（地域の花壇などに植栽を行う）」では〈家事〉が15.4%で他の職業と比べて高くなっている。

居住環境別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、「応援、観戦者」では〈県央地域〉が49.6%と高くなっている。

市町別でみると、「環境美化活動（競技場周辺の清掃活動などを行う）」では〈町〉が18.7%で他の市町と比べて高くなっている。